【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年7月3日(2025.7.3)

【公開番号】特開2023-180117(P2023-180117A)
【公開日】令和5年12月20日(2023.12.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-239
【出願番号】特願2022-93242(P2022-93242)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月25日(2025.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１位置と、その第１位置とは異なる第２位置とを少なくとも含む可動範囲で可動され得る可動手段を有し、
所定の判定が実行され得るように構成された遊技機において、
前記遊技機は、
前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とされ得るように構成され、
前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと可動させるための処理が複数回実行される第１制御が実行され得るように構成され、
前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における特定期間中に、所定条件が特定回数成立されたことに基づいて特定条件が成立され得るように構成され、
前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における前記特定期間中に、前記所定条件が前記特定回数成立されなかった場合であっても、所定の事象が生じることにより前記特定条件が成立され得るように構成され、
前記特定条件が成立された場合に、前記可動手段が前記第１位置に可動されるための処理が実行された後の期間において前記第１制御とは異なる第２制御が実行され得るように構成され、
前記第１制御が開始される前に、前記第１制御が開始されることを示すための演出が実行され得るように構成され、
前記可動手段が前記第１位置に停止されている状態から前記第１制御が開始され得るように構成され、
前記特定期間中であることを示すための演出が実行され得るように構成されていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００２】
従来より、パチンコ機などの遊技機は、第１位置と、その第１位置とは異なる第２位置とを少なくとも含む可動範囲で可動手段を可動させる可動制御として、可動手段を一連の動作内容で可動させるための動作シナリオを設定可能に構成しているものがある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１２－１３０８０２号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、第１位置と、その第１位置とは異なる第２位置とを少なくとも含む可動範囲で可動され得る可動手段を有し、所定の判定が実行され得るように構成され、前記遊技機は、前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とされ得るように構成され、前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと可動させるための処理が複数回実行される第１制御が実行され得るように構成され、前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における特定期間中に、所定条件が特定回数成立されたことに基づいて特定条件が成立され得るように構成され、前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における前記特定期間中に、前記所定条件が前記特定回数成立されなかった場合であっても、所定の事象が生じることにより前記特定条件が成立され得るように構成され、前記特定条件が成立された場合に、前記可動手段が前記第１位置に可動されるための処理が実行された後の期間において前記第１制御とは異なる第２制御が実行され得るように構成され、前記第１制御が開始される前に、前記第１制御が開始されることを示すための演出が実行され得るように構成され、前記可動手段が前記第１位置に停止されている状態から前記第１制御が開始され得るように構成され、前記特定期間中であることを示すための演出が実行され得るように構成されている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１記載の遊技機によれば、第１位置と、その第１位置とは異なる第２位置とを少なくとも含む可動範囲で可動され得る可動手段を有し、所定の判定が実行され得るように構成され、前記遊技機は、前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とされ得るように構成され、前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと可動させるための処理が複数回実行される第１制御が実行され得るように構成され、前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における特定期間中に、所定条件が特定回数成立されたことに基づいて特定条件が成立され得るように

構成され、前記第１制御により前記可動手段を前記第１位置から前記第２位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた場合における前記特定期間中に、前記所定条件が前記特定回数成立されなかった場合であっても、所定の事象が生じることにより前記特定条件が成立され得るように構成され、前記特定条件が成立された場合に、前記可動手段が前記第１位置に可動されるための処理が実行された後の期間において前記第１制御とは異なる第２制御が実行され得るように構成され、前記第１制御が開始される前に、前記第１制御が開始されることを示すための演出が実行され得るように構成され、前記可動手段が前記第１位置に停止されている状態から前記第１制御が開始され得るように構成され、前記特定期間中であることを示すための演出が実行され得るように構成されている。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】７５８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【７５８２】
１０　　パチンコ機（遊技機）
９００　　第２１制御例における可動役物（可動手段）